

# 消費者の意見を反映して作ったエシカル消費コーナー

地域活性化

普及・啓発

地産地消

リサイクル

## ショッピングプラザ アワーズ(株式会社 アワーズクリエイト)

代表者：代表取締役 横田 賢二  
所在地：徳島県阿波市阿波町伊沢田88番1号  
設立：平成26年2月  
従業員数：4名  
事業内容：ショッピングセンターの運営  
テナント数12店舗(平成23年3月現在)

### ○地域住民が望んだショッピングセンター

アワーズは、阿波町外に流出する消費をとどめたいという思いから、地元の事業者等で設立された協同組合が平成11年に作った共同店舗である。

平成26年12月に協同組合は解散し、株式会社ヨコタコーポレーションが営業権を譲り受け、ショッピングプラザアワーズの運営を行う株式会社アワーズクリエイトを設立した。株式会社ヨコタコーポレーションは阿波市にゆかりがあり、アワーズ開業時にはホームセンターを出店していたが、平成29年に大手ホームセンターを誘致し、現在はリユースショップをアワーズの敷地内に出店している。

アワーズのテナントは、スーパーマーケットとホームセンター以外は全て地元の事業者が経営する店舗である。アワーズの開業以来、周辺にはドラッグストアや飲食店などが出店し、今では商業集積地となっている。また、高齢者のために無料送迎バスの運行や買物代行サービスを行うなど、地域住民にとって、なくてはならない地域の中心となっている。

### ○消費者と事業者が協力する仕組み

平成30年1月に、NPO法人あわ・みらい創生社主催で、エシカル消費についてのワークショップが、アワーズで開催された。エシカル消費に関心の高い消費者と、店内の事業者が参加し、店内からエシカル消費につながる商品を持ち寄って意見交換を行った。消費者からは、環境や身体に良い商品を取り扱ってほしいとの要望があり、事業者側は消費者のニーズを知ることで、エシカル消費につながる取組を検討するきっかけとなった。

アワーズに出店しているスーパー、(株)マルヨシセンターでは、ワークショップから2週間後には、店内から集めたエシカル消費につながる商品や、要望のあった商品を40品目仕入れるなどし、「エシカル関連商品コーナー」を設置した。また、エシカル消費についてのポスターやチラシも作成し、店舗入口や地元野菜を並べたコーナーに設置した。消費者から「エシカルって何？」と聞かれることが多くなり、コーナーに並んでいる商品から、普段使うものを選ぶ消費者も増えたという。

### ○自ら考えて取り組むエシカル消費

スーパー以外でも、各テナントでのエシカル消費につながる取組は始まっている。定期的に行われるテナント会で、アワーズがエシカル消費についての説明と取組の協力を依頼した結果、ホームセンター内に無添加洗剤やリサイクルのトイレットペーパーなどを集めた「エシカル関連商品コーナー」が設置され、文具店では、再生紙のコピー用紙が「エシカル商品」として紹介されていた。また、ケーキ屋では飲物の提供に寄付付きの紙コップを採用し、産直コーナーでは、地元の子育て応援のために寄付ができるシールの貼られた野菜を販売するなど、各店舗が自ら考えて取組を行っていた。

### ○今後の活動

今後も、運営会社として各テナントに働き掛けるとともに、アワーズとしても、積極的にエシカル消費を普及していく考えである。平成20年から古紙の回収拠点を設置していたが、平成30年中には、その他の資源ゴミも回収できるようにする予定である。また、以前から開催していたフリーマーケットを平成30年からは「エシカルマーケット」と名称を変更し開催することにした。さらに、平成30年7月からは、アワーズ内にある直営飲食店舗を地域のボランティアに提供し、毎月25日に子ども食堂が開催されることとなった。

ほかにも、地域活性化のために、地元の住民有志や商店主たちで作る「まちづくり未来会議」のメンバーや徳島大学の学生ボランティアが、アワーズの駐車場用の民有地に、ツリーハウスや花壇のある「キッズガーデン」を作る活動を、平成30年1月に開始した。

このように、アワーズを中心に、事業者と消費者が協力し、住民の手でまちづくりが行われている。アワーズでは、今後も積極的にまちづくりの活動に参加し、住民の要望を聞き、住民が暮らしやすい地域作りに貢献していきたいと考えている。



公表日：平成30年10月22日 取材：平成30年7月

外部リンク：<https://www.facebook.com/shoppingplazaours/>